

移動市役所議事録【旭中学校区(6月4日(火)開催)第1部 部長懇談】

質問	回答	対応状況
<p>【消防団員について】 ①消防団員が少なくなっている。行政の方でも団員確保のためのPRを積極的に行ってほしい。 ②最近はお初式等に【しょうふかん】(公用)で出席してくれないと聞いている。確認してほしい。</p>	<p>(消防長) ①団員数は2000人⇒1700人に減少している。団員の減少は全国的な課題である。 消防団員として活動してくれる方は、以前は農業や自営業が多かったが、最近では会社員が増えてきた。会社勤めの方は勤務の都合により訓練等に参加しにくい状況もあるようだ。 ②消防団協力事業所(JA、旭化成、有機材など)には消防団員が活動しやすいようこれまで以上に文書等で要望していく。 消防職員は166人。災害対応するためには、消防団員の確保は必須。力を入れていきたい。</p>	<p>①本市の新たな取り組みといたしまして、消防団員確保に向け、消防団員を雇用している建設業者の入札加点制度を導入しました。また、現役消防団幹部が市役所新規採用職員に対して消防団を理解していただくための研修を行っています。 現在も基本団員数は減少傾向にありますが、機能別消防団員(消防団経験者で60歳を超え70歳未満)数は増えています。 ②基本的に消防出初式や水防訓練等の消防団行事は日曜日に実施しております。また、火災や水害等の災害に伴う緊急出場は平日でも発生しますので、現在も消防団協力事業所については、消防団員が活動しやすいよう御理解いただいておりますことから、今後も消防団協力事業所を増やし、消防団員が活動しやすい環境を整えてまいります。</p>
<p>【延岡駅西口再開発ビルとまちづくり会社延岡について】 ①延岡駅西口再開発ビルの件。昨年概要が発表されたが、その後の進捗状況が見えてこない。状況を教えてほしい。 ②まちづくり会社延岡の常勤役員が1月より不在。今後どうするのか。</p>	<p>(商工観光部長) ①基本構想が終了し、今年度中に実施設計に入る予定。完成は2021年3月予定。商工会議所、金融機関等が入る予定。 ②会社に部長職を5月より新設し配置。体制のテコ入れを図った。</p>	<p>①延岡駅西口街区における再開発ビルの整備については、株式会社まちづくり延岡により、着実に事業が進められております。現在、計画地において、既存建物の解体撤去工事が行われており、本年10月には本体建築工事に着手し、令和3年秋ごろの完成を予定しております。 再開発ビルには、延岡商工会議所や金融機関、ケーブルメディアワイワイ、旭化成株式会社、情報関連企業、飲食店の入居を予定しているほか、コワーキングスペースを設置する計画となっております。 事業スケジュールや入居予定テナント、建物の外観図等につきましては、本年7月に市が概要を発表しております。 【対応事業】「延岡駅西口街区等整備事業」 令和2年度予算:249,000千円 ②株式会社まちづくり延岡におきましては、現在、常勤役員はおかず、部長職のもと社員4名体制で円滑に運営しております。</p>

移動市役所議事録【旭中学校区(6月4日(火)開催)第1部 部長懇談】

質問	回答	対応状況
<p>【現在の商店街について】 現在の商店街の店は入ろうと思う魅力を感じない。このままでは尻すぼみ。 今後の展開をどう考えているのか。</p>	<p>(商工観光部長) 空き店舗を活用し、意欲ある事業者に出店のサポートを行っており、昨年度は7店舗が新規開業した。 また、既存の店舗には後継者不在の課題がある。今年度より「延岡市事業承継等支援センター」を市内に開設し、事業主からの相談に応じて金融機関や商工会議所に繋いでいる。</p>	<p>駅まちエリアにおいては空き店舗を活用した意欲ある事業者への出店の支援を継続して行っており、今年度は、来年度の再開発ビルの完成を見据えて今までの支援内容を更に強化した支援を行います。 【対応事業】「駅まちエリア魅力づくり推進事業」 令和2年度予算:28,919千円</p> <p>商店街を含んだ事業承継の課題に対処するために、平成31年4月に「延岡市事業承継等支援センター」を設置しています。 この支援センターは、延岡市、延岡商工会議所、延岡市三北商工会、延岡信用金庫、宮崎県よろず支援拠点、宮崎県事業承継ネットワーク県北地区ブロックコーディネイターが連携して設置したもので、事務局を延岡市商工観光部人材政策・移住定住推進室に設置し、承継に伴う相談受付等の支援にとどまらず、廃業資産と創業・移住とのマッチング等も行うこととしています。 【対応事業】「延岡市事業承継等推進センター事業」 令和2年度予算:1,000千円</p>
<p>【消防団15分団の車庫について】 消防団15分団の車庫が移動するという話があるが本当か。</p>	<p>(消防長) 現在15分団の施設は民有地に建っている。 一般的に消防の機庫は、地域の土地に地域の財源で設置することになっており、市が費用の3分の1を補助する。 しかしながら、市街地のため適当な土地がない現状。 近隣の空き家を消防団で探しており、市も15分団の管轄地内や周辺で公有地(学校等)の貸出の可能性も含め検討中。</p>	<p>令和元年12月に、旧萩町から山下町(山下新天街内)に消防機庫を移設し消防団活動を行っております。 なお、移設につきましては消防団施設整備補助金(1/3補助)を活用しております。</p>
<p>【消防団の車庫について】 消防団14分団の車庫は区の建物だが、土地は旭化成から借りている。15分団の車庫移設に併せて14分団、15分団を合併し、車庫も共同で使用できないか。</p>	<p>(消防長) 団を合併し、担当区割りを変更する、地域住民で資金を集めるなど、様々な考えや手法があると思うが、現在は存続に向けて検討を重ねている。</p>	<p>第15部は令和元年12月に移設が完了し、今後も第15部管轄(萩町・栄町・幸町1～3丁目・山下町1～3丁目)を担当致します。</p>

移動市役所議事録【旭中学校区(6月4日(火)開催)第1部 部長懇談】

質 問	回 答	対 応 状 況
<p>【民生委員について】 11月で民生委員の任期が終了するため、区長宛に次期民生委員の推薦依頼が届いている。 ○○区は平均年齢も高く、候補者を探すのは難しい。 市は地区ごとの状況を把握しているはず。各地区に応じた個別対応を考えて欲しい。</p>	<p>(商工観光部長) 区長と民生委員は言わば車の両輪。2役が揃うことで区が円滑に運営される。 今回の話は健康福祉に繋ぐ。 今後、健康福祉部の担当職員が各区へお話しに伺う機会があるため、その機会に区の現状を改めて教えてほしい。</p>	<p>令和元年度は民生委員児童委員の一斉改選の年となっておりますが、市内の多くの地区において候補者を確保することが困難となっている状況にあります。このため健康福祉部の職員が区長等と連絡を取り、各地区の現状を伺いながら一緒になって候補者探しをさせていただいております。</p>